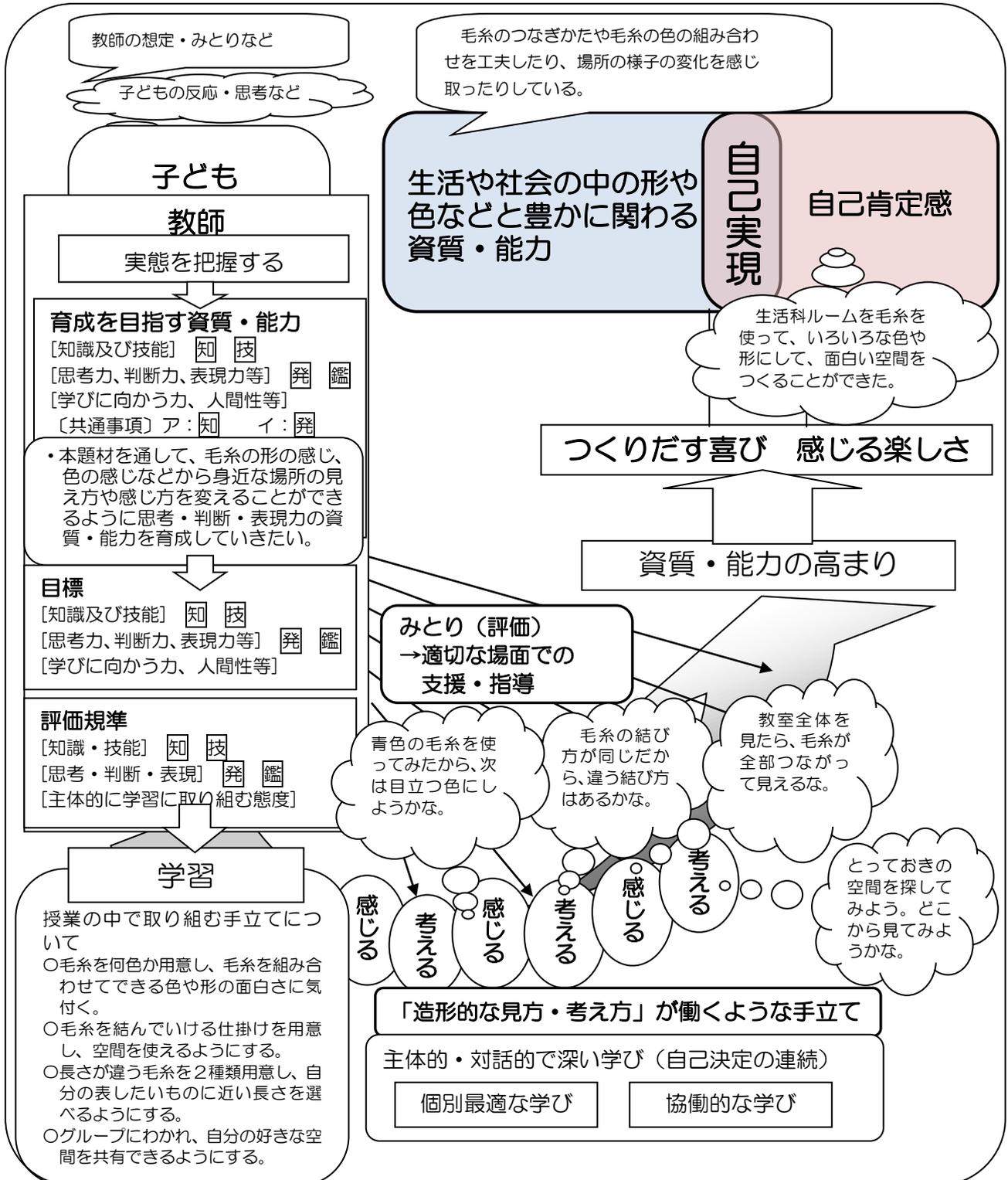


# 第3学年5組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立宮崎小学校

1. 題材名「むすんでつないで ひもひもワールド」A表現 (造形遊びをする活動) 2時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



### 3. 活動場所 生活科ルーム

#### 4. 題材観

##### (1) 子どもたちの実態

明るく活発な児童が多く、何事にもやってみたいと思う児童が多い。ほとんどの児童が図工を楽しみにしており、絵をかくことや粘土でつくることに興味をもっている。

3年生に入り絵の具を使った「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ!」では、水を調整し濃い色や薄い色に挑戦したり、筆使いに気を付けて細い線や太い線を試したりしながら、偶然できた絵の具の表現の面白さに気付く児童が多かった。自分が思う「いいかんじ!」と思う色や、形、表し方を見つけて楽しむ様子が見られた。

##### (2) 題材と育成を目指す資質・能力

本題材では、特別教室で使用する生活科ルームという身近な場所を使い、友達と協力しながら毛糸を結んで張ったり、友達の毛糸とつなぎ合わせる活動を通して、毛糸のつなぎ方を工夫したり生活科ルームの様子の変化を感じ取ったりする力をつけていきたいと考える。活動していく中で、毛糸の形の感じや色の感じなど、それらの組み合わせを基に、自分のイメージをもち、新しい形や色を思いつきながら活動をしていけるようにしたい。また、活動後に見比べられるように、活動前の生活科ルームの様子を写真で記録しておき、変化の実感を味わえるようにしていきたい。

#### 5. 題材の目標

##### (1) 知識及び技能に関する題材の目標

○毛糸をつなぐときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせの感じが分かる。(知識)

○毛糸の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。(技能)

##### (2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

○形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、毛糸や毛糸を結ぶ場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するか考える。(発想や構想に関する資質・能力)

○形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分や友達が活動して変化した様子などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(鑑賞に関する資質・能力)

##### (3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

○進んで毛糸を用いて活動したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

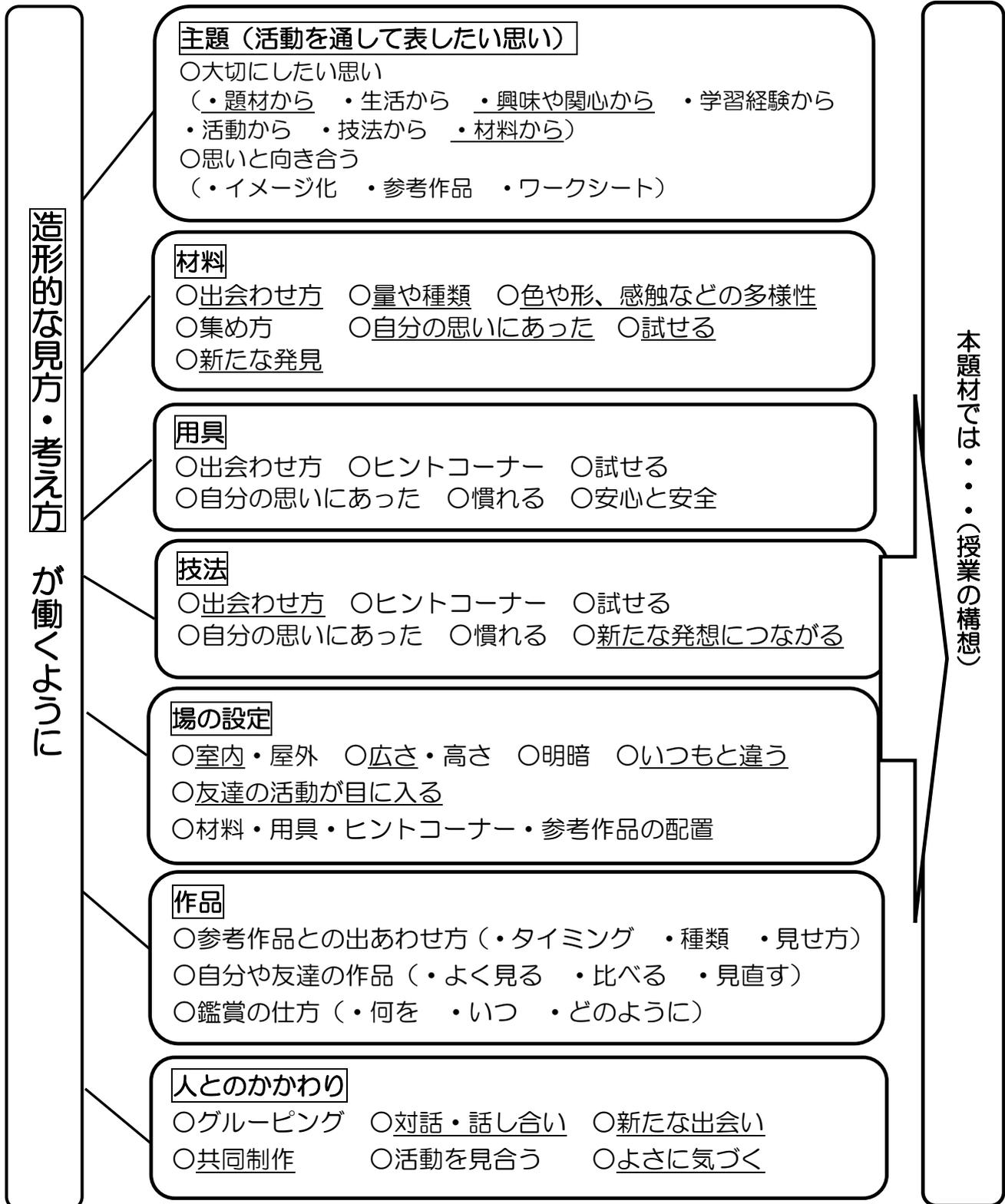
#### 6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 毛糸をつなぐときの感覚や行為を通して形の感じ、色の感じそれらの組み合わせの感じが分かっている。</p> <p><b>技</b> 毛糸の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。</p>	<p><b>発</b> 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、毛糸や毛糸を結ぶ場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するか考えている。</p> <p><b>鑑</b> 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら自分や友達が活動して変化した様子などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p><b>主</b> つくりだす喜びを味わい、進んで毛糸で活動したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 7. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

(1) 手立ての視点

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったり見たりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



(2) 本題材における、造形的な見方・考え方が働くような手立て

・毛糸の結び方の練習と毛糸との出会い

安心して活動ができるように最初は短めの毛糸を結ぶ活動を児童と一緒に確認する。色を変えて結び方がわかりやすいようにしたり、実物投影機を使い手元を見せたりしながら練習をする。活動に慣れたところに、十分な量の毛糸の山を見せ、毛糸をどんどん結んでいきたいという意欲をもたせる。

・毛糸の種類と色数や長さ

毛糸の種類は安心して結ぶことができるように、同じ太さの毛糸を使用する。太さを出したい場合は子どもたちと考えた上で、ねじり合わせたり重ねたりすることが出来ることを共有し活動できるように声をかけていきたい。色については、5色用意する。子どもたちが思いっきり活動できるように十分な量を用意する。長さについては、2種類の長さの用意をする。今回は、はさみを使用しないので、余った部分を垂らしてみたり、さらに結んでみたりと毛糸を張りめぐらせられるように長さを意識した。

・結ぶことが困難な児童への手立て

十分に練習時間を確保はするが結ぶことが困難な児童もいることが予想される。そこで、あらかじめGIGA 端末で録画しておいた結び方の動画を見せながら、安心して結べるように声をかける。しかし、毛糸を結ぶことに重点を置くのではなく、毛糸を使って生活科ルームを变身させることに重点をおきたいと思う。そこで、どうしても結べない児童においては、両端に輪を作った毛糸を用意し、友達の毛糸とつなぎ合わせられるようにした毛糸を使って安心して活動ができるようにする。

おもしろいつなぎ方を思い付いている児童を紹介するなどをして、友達がつくった形や色からも発想につながるように促す。

・場への仕掛け

体を思いっきり使って活動できるように生活科ルームという、物があまりない教室を選んだ。しかし、毛糸を結ぶところがあまりないので、園芸用のネットを用意し、結んでいけるところを仕掛けることにした。広い空間を使って思う存分毛糸を張りめぐらせることができるようにした。また、毛糸を置いておく机の脚などにも、毛糸を結んでいけるように机も用意する。

・材料と場との向き合う時間の確保

「個別最適な学び」の観点から、一人ひとりがしっかりと材料に触れ、手や体全体を十分に働かせながら活動できるようにするため、まずは「私のひもひもワールド」に取り組むことを促し、自分だけのひもひもワールドを意識しながら取り組む時間を確保していきたいと思う。その後、一人ひとりの活動が広がっていった時に、協働的な学びの実現するために近くの友達と毛糸を繋いでもよい事を提案したいと考える。

・鑑賞のもち方

活動中は結ぶことに夢中になる児童が多くいると思うので、友達と交流しながらお互いのとっておきの空間を紹介する時間も確保したいと考える。クラス全体では、代表で何人かの児童にとっておきの空間を教師のGIGA 端末を使用し、記録しておく。全体でテレビの画面で共有していきたい。また教師は事前に活動する前の教室と活動途中や活動後の様子の写真も記録して、空間の変化を見せたい。

## 8. 準備

[ 教師 ] 毛糸、はさみ、園芸用ネット、机、テレビ、GIGA 端末

[ 子ども ] GIGA 端末

9. 指導と評価計画（2時間扱い）

	◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準□と 評価方法（ ）
1 次 30 分	毛糸をどんどん結んでみよう		
	<p>◇毛糸と出会い、つなぎ方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛糸の色をたくさん変えて、結んでみたいな。</li> <li>・友達とつなげたら長くなるかな。</li> <li>・ただ結ぶのではなくて、いろんな形にして結んでみたいな。</li> </ul>	<p>○短めの毛糸と出会わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に短いひもを使って何本か結んでみるように声をかける。</li> <li>・結ぶのが苦手な児童のために、練習をする。</li> <li>・結び方がわかりやすいように手元を拡大し、2本の毛糸の色を変えて説明する。</li> </ul>	<p>□知 毛糸をつなぐときの感覚や行為を通して形の感じ、色の感じそれらの組み合わせの感じが分かっている。（活動・ワークシート）</p>
2 次 60 分  本 時	毛糸をどんどん使って、生活科ルームを変身させよう。		
	<p>◇活動のめあてを知る。</p> <p>◇毛糸の色の組み合わせを考えたり、結び方を試したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん毛糸を結び合わせたら、どんな教室になるのだろう。</li> <li>・どんどん結んでみたいな。</li> <li>・毛糸一本で結ぶよりも、何本か組み合わせるときれいだな。</li> <li>・結び方をかえても面白いかもしれないな。</li> <li>・友達と結んでみたいな。</li> </ul>	<p>◎大量の毛糸を用意しているのを知らせる。</p> <p>○活動内容とめあてを伝える。</p> <p>○毛糸を使って、生活科ルームを変身させることを伝える。</p> <p>◎まずは一人で活動できるように「私のひもひもワールド」をつくるように声をかける。</p> <p>◎児童の様子をみて声をかけて回り、結ぶのが困難な児童には、GIGA 端末であらかじめとった結び方の動画を見ながらできることを伝える。</p> <p>◎活動が広がっていった時に、友達の毛糸とつないでいても良いことを伝え、「3-5ひもひもワールド」にするように呼びかけ、さらに空間を使っていけるように促す。</p> <p>◎動画を見ても結べない児童については、あらかじめ輪を作った毛糸を渡し、友達と繋ぎ合わせるように声をかける。</p> <p>◎ひもの色やつなぎ方を工夫している児童がいたら他の児童に紹介する。</p>	<p>□発 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、毛糸や毛糸を結ぶ場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するか考えている。（活動・ワークシート）</p> <p>□技 毛糸の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。（活動・ワークシート）</p>

とっておきの毛糸の空間を見つけよう。

- ◇毛糸をつないで生まれた形や色に注目しながら、変化した空間の様子を見て回り、活動をふりかえる。
- 友達と結んでできたこの毛糸の組み合わせが好きだな。
- 寝転んで下から見ると色が重なっていてきれいだな。
- いつもの生活科ルームが楽しい毛糸の世界に変わったな。
- クモの巣のようにみえるな。
- レーザーのように見えて、おもしろいな。
- 友達が紹介してくれた空間も自分の選んだ空間と違って見え方が面白いな。

- 毛糸のつなぎ方や色の組み合わせなどに注目しながら、自分のお気に入りの空間を探すように声をかける。
- ◎離れて見てみたり、寝転んで下から見上げてみたりなどいろいろな視点があることを伝える。
- ◎お気に入りの空間が見つかったら友達と紹介しあうことを伝える。
- グループでお気に入りの空間を紹介しあうようにし、様々な感じ方があることに気付かせる。
- 活動をふりかえりワークシートに書き込む。

**鑑**  
 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら自分や友達が活動して変化した様子などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。  
 (様子・発言・ワークシート)

※主体的に学習に取り組む態度は、児童自ら「知識及び技能」を獲得したり、「思考力判断力、表現力等」を身に付けたりするために、粘り強く取り組んだり学習を調整したりしている姿を活動全体を通して評価する。

10. 本時の活動（2/2時間 60分）

（Ⅰ）本時の目標

- 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、表したいことをみつけることや毛糸を結ぶ場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように表すか考えている。（発想や構想に関する資質・能力）
- 自分や友達が活動して変化した様子などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（鑑賞）

（Ⅱ）本時の展開

<p>◇子どもの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される子どもの反応</li> </ul>	<p>○教師のかかわり・手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎造形的な見方・考え方が働くような手立て</li> </ul>	<p>評価規準 <input type="checkbox"/> と評価方法 ( )</p>
<p>◎大量の毛糸を用意しているのを知らせる。</p>		
<p><b>毛糸をどんどん使って、生活科ルームを変身させよう。</b></p>		
<p>◇活動のめあてを知る</p> <p>◇毛糸の色の組み合わせを考えたり、結び方を試したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん毛糸を結び合わせたら、どんな教室になるのだろう。</li> <li>・どんどん結んでみたいな。</li> <li>・毛糸一本で結ぶよりも、何本か組み合わせてみるときれいだな。</li> <li>・結び方を変えても面白いかもしれないな。</li> <li>・友達と結んでみたいな。</li> </ul>	<p>○活動内容とめあてを伝える。</p> <p>○毛糸を使って、生活科ルームを変身させることを伝える。</p> <p>◎まずは一人で活動できるように「私のひもひもワールド」をつくるように声をかける。</p> <p>◎児童の様子をみて声をかけて回り、結ぶのが困難な児童には、GIGA 端末であらかじめ撮った結び方の動画を見ながらできることを伝える。</p> <p>活動が広がっていった時に、友達の毛糸とつないでいても良いことを伝え、「3-5ひもひもワールド」にするように呼びかけ、さらに空間を使っていけるように促す。</p> <p>◎動画を見ても結べない児童については、あらかじめ輪を作った毛糸を渡し、友達と繋ぎ合わせるように声をかける。</p> <p>◎ひもの色やつなぎ方を工夫している児童がいたら、他の児童に紹介したりする。</p>	<p><b>発</b></p> <p>形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、表したいことをみつけることや毛糸を結ぶ場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように表すか考えている。</p>
<p><b>とっておきの毛糸の空間を見つけよう。</b></p>		
<p>◇毛糸をつないで生まれた形や色に注目しながら、変化した空間の様子を見て回り、活動をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と結んで、できたこの毛糸の組み合わせが好きだな。</li> <li>・寝転んで下から見ると色が重なっていてきれいだな。</li> <li>・いつもの生活科ルームが楽し</li> </ul>	<p>○毛糸のつなぎ方や色の組み合わせなどに注目しながら、自分のお気に入りの空間を探すように声をかける。</p> <p>◎離れて見てみたり、寝転んで下から見上げてみたりなどいろいろな視点があることを伝える。</p>	<p><b>鑑</b></p> <p>自分や友達の作品などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。（様子・発言・ワークシート）</p>

<p>い毛糸の世界に変わったな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• クモの巣のようにみえるな。</li> <li>• レーザーのように見えて、おもしろいな。</li> <li>• 友達が紹介してくれた空間も自分の選んだ空間と違って見え方が面白いな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎お気に入りの空間が見つかったら友達と紹介しあうことを伝える。</li> <li>○グループでお気に入りの空間を紹介しあうようにし、様々な感じ方があることに気付かせる。</li> <li>○活動をふりかえりワークシートに書き込む。</li> </ul>	
---	---	--

図工『ひもひもワールド』

ふりかえりシート

3年 組 番 (

)

『ひもひもワールド』の活動を通して感じたことを書いてみよう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---